

## 平成30年度 学長戦略経費（公募型プロジェクト）研究成果概要報告書

経費の種類	<input type="checkbox"/> 共同研究推進 <input checked="" type="checkbox"/> 若手教員研究支援 <input type="checkbox"/> 個人研究支援 <input type="checkbox"/> 研究推進重点設備 <input type="checkbox"/> 研究推進設備修繕
プロジェクトの名称	よりよい人間関係を育む絆づくりに関する研究 — 行動分析学に基づくポジティブな支援 —
報告者氏名・所属・職名	杉本任士・教職大学院（函館校）・准教授
プロジェクト担当者氏名・所属・職名	杉本任士・教職大学院（函館校）・准教授
<b>研究内容及び成果の概要</b>	
<b>研究内容</b> 本研究の目的は、学級経営に関する先行実践を検証し、その成果と課題を踏まえ、行動分析学の方法論を用いた学級経営プログラムを開発するための基礎研究を行うことであった。	
<b>成果の概要</b> 1) 文献研究 教職大学院における学級経営に関する実践研究をレビューした。その結果、子供たち一人一人の対人関係スキルの向上と子供たち同士のつながりを重視した学級経営が重視されていることが明らかになった。こうした課題を解決するために、PBIS、SEL、ピア・サポート、協同学習の実践研究が行われており、今後はこれら実践研究の蓄積とこれら4つを統合した学級経営プログラムの開発が望まれることが示唆された。	
2) 実践研究 公立小学校6年生1学級（33名）を対象にハッピーメッセージの実践研究を行った。ハッピーメッセージとは、友だちのよいところをカードに書き、学級に設置されているポストに投函する取組のことである。図1は、ハッピーメッセージを用いて社会的ネットワーク分析を行った結果である。学級担任は、この分析結果を学級経営に生かすことができた。	
	
<b>図1. 社会的ネットワーク分析の結果</b>	
<b>成果の公表の状況</b>	
【学術論文】杉本任士・小田将之、教職大学院におけるよりよい人間関係を育む学級経営に関する研究動向、北海道教育大学教職大学院紀要、第9号、2019年3月、pp.89-100	
<b>教育現場で活用可能な分野・教材等</b>	
実際の学級経営で実践が可能です。子供の集団作り等に関する研修会の実施も可能です。	
配布又はダウンロード可能な資料	
問い合わせ先	代表者：杉本 任士 電 話： FAX  ： mail  ： sugimoto.tadashi@h.hokkyodai.ac.jp